

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	衣料品専門店 （経営者）	単価の動き	・天候の良い日が続き、単価、数量ともに増加している。特にメンズの調子が良く、今までにない動きである。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・水不足を心配して、前倒して美容院に来る人が多かった。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・夏物バーゲンが始まり、客の入りがなかなか良い。客単価は上昇していないが、買上の点数は上昇しており、売上はそこそこ確保できている。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・クールビズの影響により、衣料品の動きが良くなっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・気温が高く雨が少ないので、飲料を中心に良く品物が動いている。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・来客数が安定しており、前年比で販売額は5～7%の上昇を維持している。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・気温や湿度が高いため、エアコンの売上は、昨年より2～3割上昇している。また、来客数も少しずつ増えてきている。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・天候がよく、昨年と比較して売上は増加した。
	変わらない	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・ボーナスが支給されても、高い買物をしたり、衝動買いをしたりする客はほとんどいない。必要なものにだけ購入するといった傾向が継続している。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・来客数及び売上高は前月に引き続き前年割れとなった。内訳をみると、紳士用品は善戦し食品も前年を確保したが、クリアランスセール前の下見客が目立ち、ファッション関連商品や絵画、宝飾品が前年割れとなり厳しい結果だった。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・客の動向をみると、かなり高額品でも、自分が欲しい物であれば買い、不要な物は一切買わないという傾向が続いている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・販売量自体は少しずつ上昇しているが、やはり単価の低い物が売れるという傾向は続いており、売上は変わらない。
		スーパー（店長）	単価の動き	・父の日セールが良く、さらに昨年より暑いので、夏物が良く売れており、単価の動きは昨年よりわずかに良い。
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・来客数は前年比3%減少し、売上高も前年比3%減少した。衣料品は紳士服、実用衣料が前年を上回ったが、婦人服などは前年を下回った。食料品も酒を除き、総じて前年を下回っている。特に青果は前年比10%減少と不振であった。
スーパー（副店長）		単価の動き	・必要な物だけの購入で、バーゲンまで待っている客が非常に多くなっている。	
その他専門店 〔CD〕（店員）		来客数の動き	・ボーナス支給の影響から、客単価は上がったが、客数は増加しておらず、総合的には変化がない。	
観光型旅館（経営者）		来客数の動き	・客の様子は多少明るくなっているが、愛知万博の影響により、四国全体的に来客数が伸び悩んでいる。	
旅行代理店（従業員）		来客数の動き	・ビジネス客を中心に、東京への航空券、ホテルパック商品の購入が多い。また、愛知万博、夏休みの国内、海外旅行の相談、秋の海外挙式相談等の来店客も多かった。団体旅行も回復してきている。	
観光名所（経営者）	来客数の動き	・愛知万博の影響で、グループおよび個人客が減少している。		
やや悪く なっている	一般小売店〔生花〕（経営者）	競争相手の様子	・地元の企業が経費削減に努めており、法人向けの需要が少なくなった。	
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・春物バーゲンや夏素材・秋色物の晩夏、初秋企画を行っても、集客効果が出ない。3か月前と比べて15%強の来客減となっている。	
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・イベントを去年と同じように行っても来客数が伸びない。	

		タクシー運転手	単価の動き	・乗車回数が減り、一回当たりの単価も低い。
		タクシー運転手	来客数の動き	・雨が降らないので乗車客が少ない。相変わらず乗車距離が短い。お寺参りや四国八十八カ所参りも、暑いので減っている。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・官公庁などのボーナス月にもかかわらず販売数が伸びない。
		設計事務所（職員）	競争相手の様子	・競争相手も含めて、販売量が減少し、単価も下がってきている。商店や飲食店の客数や人通りは減っている。
	悪くなっている	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・人の流れが変わったかのように、来客数が減少している。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新商品の寄与率がよく、3か月前に比べて、売上が上昇している。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・クレーンの稼働率は、関東地区の高炉プラントや瀬戸内沿岸のコンビナート関連工事の活況などにより一般的に高い水準を維持しており、新規購入の引き合いも増加している。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・鉄鋼、造船関係の仕事が依然好調なことから受注が多い。
		建設業（経営者）	それ以外	・見積をする機会が増えている。
		広告代理店（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・売上の大部分を占める東京の業者からの受注が増加傾向にあり、受注は前年よりも増えている。
	変わらない	繊維工業（経営者）	取引先の様子	・相変わらず小売業界の販売状況が悪く、景気が上向いているとはいえない。ただ値段が高くてもいいモノを求める客が増えており、今後この市場をねらった商品開発が求められている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・設備機械の受注が減ってきているが、自社開発のオリジナル商品の引き合いは好調であり、トータルでは変わらない。
		公認会計士	取引先の様子	・企業の決算の提出内容を分析すると、前年比で赤字決算の企業が1.6倍になっている。売上、利益ともに、改善していない。
	やや悪くなっている	輸送業（支店長）	取引先の様子	・夏場の水不足の懸念と中元期が重なり、例年なら清涼飲料関連の出荷量が増大する時期であるが、盛り上がりがなく、いまだにその気配がない。
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	求職者数の動き	・求職者の登録者数が非常に減っている。一方で、各民間企業などの採用が少し積極的になってきている。
		人材派遣会社（支店長）	雇用形態の様子	・紹介予定派遣（あらかじめ決められた期間は派遣社員として雇用され、その後正社員として契約する派遣形態）で雇用するケースが増えてきた。
		求人情報誌製作会社（従業員）	雇用形態の様子	・特に、業務請負業や正社員の雇用の広告が増えてきており、パート・アルバイトのような不安定な雇用形態が減ってきている。
		民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き	・求人企業においては、いい人材がいれば採用するという企業が非常に増えてきた。
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・欠員社員の代替要員の雇用などが多く、増員を図っているところは少ない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は、卸・小売業、飲食店、宿泊業、サービス業などで減少したが、キーオペレーターの大口求人であった情報通信業、医療・福祉業で増加した。
やや悪くなっている	-	-	-	
悪くなっている	-	-	-	